

講義コード	1015	科目区分	専門教育科目(スポーツ健康福祉専攻)
(フリガナ)	スポーツシャカイガク	(フリガナ)	クニキ タカハル
授業科目名	スポーツ社会学	担当教員名	國木 孝治
英文授業科目名	Sociology of Sport		
基準年次(開講期)	2年生(後期)	履修形態	選択
曜日/時限/講義室	水曜日/1時限/第2演習室(PCルーム)		
授業の方法	講義	授業の方法 (詳細情報)	講義中心、演習中心、学生の発表
単位	2	週時間	1
授業のキーワード	学校体育、地域・社会スポーツ、オリンピック/パラリンピック、スポーツ基本法、スポーツ庁		
授業概要・目的	<p>本授業では次の2点を獲得することを目的としている。</p> <p>1) 過去から現在に至るスポーツの諸問題及び課題について検討し、現代社会におけるスポーツの社会的機能・役割について理解を深めること。</p> <p>2) 生涯スポーツ及び中等教育におけるスポーツに関する身近な問題について、その社会的な背景を理解し、望まれる姿を模索するために必要な社会学的な基礎知識を得ること。</p>		
到達度評価の 評価項目	<p>(知識・理解)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校体育とその教育における基礎的なものの見方・考え方を身に付けることができる。</li> <li>・社会体育とその教育における基礎的なものの見方・考え方を身に付けることができる。</li> <li>・健康やスポーツに関する1)2)を含んだ幅広いものの見方・考え方を身に付けることができる。</li> </ul> <p>(知的能力・技能)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校体育に関する資料・情報を収集し、関連したテーマにまとめたり、批判的に検討できる。</li> <li>・社会体育に関する資料・情報を収集し、関連したテーマにまとめたり、批判的に検討できる。</li> <li>・健康やスポーツに関する諸問題に関心を持ち、関連したテーマにまとめたり、批判的に検討できる。</li> </ul>		
授業計画			
第1回	<p>授業ガイダンス</p> <p>授業の進め方。スポーツ社会学を学ぶ意義</p>		
第2回	<p>文化としてのスポーツ</p> <p>スポーツの概念と歴史、学校体育の歴史と教育としてのスポーツ</p>		
第3回	<p>スポーツのルールと法</p> <p>スポーツマンシップの意義、ルールの意義と法規範性</p>		
第4回	<p>スポーツとジェンダー、スポーツと性</p> <p>スポーツとジェンダーに関する問題とスポーツと性別の問題</p>		
第5回	<p>障がい者のスポーツ</p> <p>障害者スポーツの現状と課題</p>		
第6回	<p>スポーツにおける暴力、ハラスメント、体罰</p> <p>スポーツの中での暴力やハラスメント、体罰問題</p>		
第7回	<p>スポーツとギャンブル</p> <p>賭けの対象としてスポーツが行われる場合の法的問題点と八百長問題</p>		
第8回	<p>スポーツと経済</p> <p>スポーツとマスメディアについて</p>		
第9回	<p>スポーツと政治Ⅰ :ドーピング問題</p> <p>ドーピングをめぐる現状および背景。ドーピング防止機関。禁止薬物と検査法、処分</p>		
第10回	<p>スポーツと政治Ⅱ</p> <p>オリンピック、国民体育大会を事例として</p>		
第11回	<p>スポーツ環境と政策</p> <p>スポーツ基本法の意義や策定の経緯。我が国におけるスポーツ政策の現状と課題</p>		
第12回	<p>スポーツビジネス</p> <p>スポーツビジネスやスポーツマーケティングの現状と課題</p>		
第13回	<p>地域におけるスポーツ</p> <p>我が国のスポーツプロモーション。総合型地域スポーツクラブ。スポーツ少年団</p>		
第14回	<p>スポーツ事故と責任</p> <p>スポーツ事故の現状と法的責任。スポーツ保険</p>		
第15回	<p>まとめ</p> <p>スポーツの今後の展望、スポーツを(に)学ぶ者の役割と課題</p>		
教科書・参考書等	<p>各回、配布資料を用意する。以下、予習・復習にあたる参考図書を紹介する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森川貞夫・佐伯聰夫編(1998)スポーツ社会学講義、大修館書店:東京。</li> <li>・森川貞夫・依田充代(2001)今日からはじめるスポーツ社会学、共栄出版:東京。</li> <li>・依田充代(2004)改訂スポーツ社会学-歴史から学ぶスポーツの未来-、共栄出版:東京。</li> </ul>		
授業で使用する 機器等	各回配布資料を用意する。ほか、音声教材、映像(ビデオ/PC/その他画像資料)		
予習・復習への アドバイス	各回とも講義内容を確認し、参考文献・資料を読む。		
履修上の注意・ 受講条件等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校および高等学校保健体育免許取得要件科目</li> <li>・日体協:スポーツリーダー取得要件科目</li> </ul>		
成績評価の基準等	<p>以下の3つの観点から評価する</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 授業に取り組む姿勢(30/100)</li> <li>2) 課題レポート(40/100)</li> <li>3) 研究発表内容・能力(30/100)</li> </ol>		
メッセージ	遅刻厳禁。授業中の飲食禁止。携帯電話の電源は切り、机の上に置かずにしまっておくこと(各種障がいのために携帯電話が必要な場合は申し出ること)。		
オフィス・アワー	各期オフィス・アワー時に國木孝治研究室(7号館:726)にて対応する。		
その他			